



町内会をサポート、イベントを一手に引き受けます！
全国的にも注目の「と〜かん連合会」

町内会活動をサポートする通称「と〜かん連合会」。町内会の役員の負担を減らすことで、誰もが町内会に関わりやすくするため、祭りの企画運営や防災訓練等を引き受ける。また、自主活動としてカフェや花見会なども開いている。

「魅力のあるイベントには人が集まる」と、町内の有志が地域を盛り上げている。

- 内 容 町内会からの受託事業と自主事業
 - ・ 東観音台フェスタ
 - ・ と〜かんカフェ
 - ・ 花見会など季節の行事
 - ・ 東観音台新聞の発行 等
- 実 施 日 通年
- 場 所 東観音台団地内
- 開始時期 平成17年5月
- 実施主体 東観音台連合会「と〜かん連合会」



取組のステップ



「と～かん連合会」の立ち上げ

子ども会が解散して地域のお祭りの継続が困難になったため、町内会役員のOBが集まって祭りを復活させた。これをきっかけに東観音台連合会、通称「と～かん連合会」が立ち上がった。団地には3つの町内会があり、役員は1年ごとの交代制になっているものの後任を探すのに苦労していた。また、新しいことにも取り組みにくかった。と～かん連合会は、これを何とかしようと、町内会のサポートに乗り出した。

町内会受託事業と自主事業の2本柱

と～かん連合会が行っているのは、大きく分けて、①町内会からの受託事業、②自主事業の2つ。①は主に町内会行事のサポートで、経費は町内会の予算を充てる。毎年、町内会の総会で、事業内容と予算が決まる。

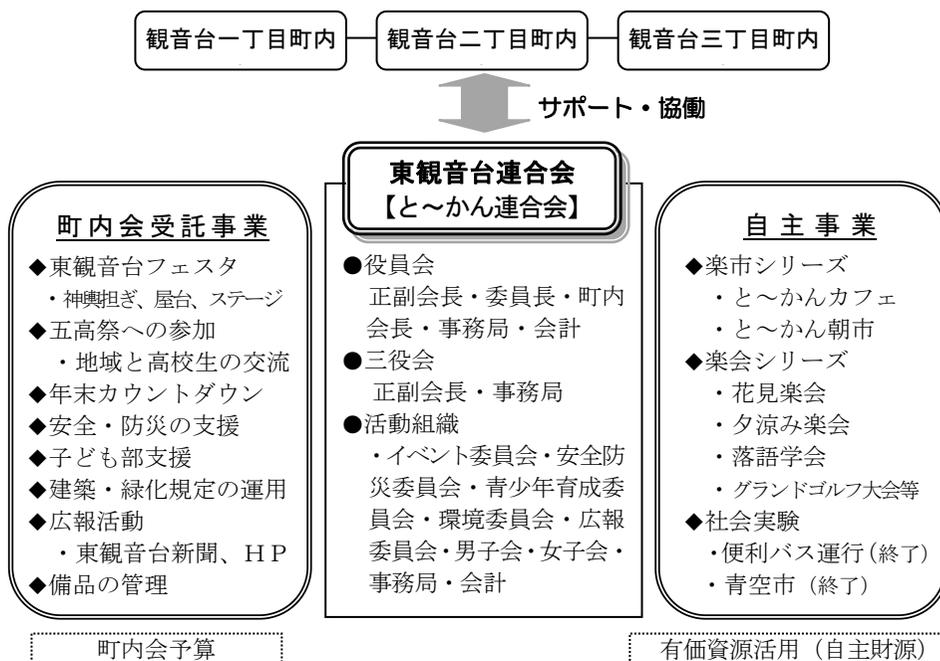
②の自主事業は、有価資源回収事業の収益金を財源に、と～かんカフェ（P24）等の新たなイベントや社会実験を行っている。



メンバーは町内会役員のOBが中心

会のメンバーは約40人で町内の有志。約半数が町内会役員のOBで趣味や特技を生かす場にも。都合のいい時だけ参加すればいい等参加しやすい仕組みにしている。

【と～かん連合会の仕組み】



年間20のイベントを企画、町内会の役員には負担をかけない

と〜かん連合会は、東観音台フェスタや花見、夕涼みなど、月2回、年間約20のイベントを企画・運営している。

町内会の役員には負担をかけない。連合会のメンバーは好きだからやっているの、義務感や負担感も無い。いい関係づくりができています。

団地内の高校と連携

神輿の担ぎ手が少なくなったため、団地内にある五日市高校に協力を依頼したところ、クラブの行事として参加してもらえることになり、一緒に祭りを盛り上げている。

これをきっかけに、高校の文化祭に地域も参加するなど交流を深めている。



工夫していること

東観音台新聞を発行

地域の行事などを知らせる「東観音台新聞」を発行している。

飲みニケーションを大事に

打ち合わせは、参加しやすいよう行事の後に行く。缶ビール3本の飲みニケーションで自由に意見を言える雰囲気をつくる。



課題・今後の展開

- ・ 団地住民の高齢化に対応した取組
- ・ 新しい発想による活動メニューの更新

みんなの声

〈住民〉

- ・ 地域の行事がいろいろあるので、人と話をする機会が増えた。楽しみにしている。
- ・ 町内会役員の負担を少なくしたり、町内会行事を継続してくれる活動に感謝している。

〈主催者〉

- ・ 定年退職して、それまで無縁だった地域の人たちと交流できてやりがいがある。
- ・ 町内会の役員の負担が少なくなれば、誰もが町内会に関わりやすくなると思う。会の活動に参加して、地域を盛り上げていきたい。